「令和元年度　６次産業化推進研修会」開催要領

１　目　的

　地域の多くの関係者を巻き込み，農産物などの地域の資源をブランド化し，生産・加工から販売まで一貫してプロデュースし，地域内外に販売する組織として「地域商社」が注目を浴びている。

　そこで，地域資源を活かした地域づくりを実践している地域商社の経営者から講話をいただき，取組事例やその経緯，課題，ノウハウ等を学び，６次産業化に関わる担当職員の支援能力向上や農林漁業者による新事業創出，地域商社の育成支援に役立てることを目的に研修会を開催する。

２　主　催　宮城県

３　日　時　令和２年２月２６日（水）　午後２時から午後４時まで

４　開催場所　宮城県自治会館　２階　２００・２０１会議室
　　（仙台市青葉区上杉１－２－３）

５　開催内容

１）講　演

「株式会社四万十ドラマの取り組みと地域に負担をかけないものづくりについて
～ローカル・ローテク・ローインパクト～（仮題）」

講師　株式会社四万十ドラマ　代表取締役　畦地履正（あぜちりしょう）　氏

【内容】㈱四万十ドラマは，平成６年に四万十川流域町村の出資により設立された第３ セクター。地域の足元にある価値を見つめ，商品開発や道の駅「四万十とおわ」の運営を行ってきた取組事例を御紹介いただくとともに，地域に負担をかけないものづくり・地域づくりや商品開発の考え方，ノウハウなどについて御講話いただきます。

２）その他　６次産業化に関する情報提供

６　対　象　６次産業化支援に携わる県・市町村職員，関係団体職員，農林漁業者等

■講師紹介：**株式会社四万十ドラマ　代表取締役　畦地履正（あぜちりしょう）氏**

昭和 39 年旧十和村（現：高知県高岡郡四万十町）生まれ。平成６年に株式会社四万十ドラマに就職，平成 19 年から代表取締役社長に就任し，平成 30 年３月まで「道の駅四万十とおわ」の運営を担う。

「四万十川に負担をかけないものづくり」をコンセプトに地域と密着し，自然循環型企業を目指した事業展開を行っている。四万十川の地域資源を活かした商品開発に携わり，中でも「四万十ひのき風呂」や「しまんと緑茶」「しまんと地栗」シリーズ，「しまんと新聞ばっぐ」などの商品を開発し地元産業を構築。その他，四万十川流域の集客システムをつくる「四万十また旅プロジェクト」にも参画し，新たな観光産業を生み出している。平成 24 年より「東北新聞バッグプロジェクト」を立ち上げ，東北復興の支援も行っている。